

をオートバイで駅まで送ってもらった。その途中、工場長は突然、あの娘は実は養女で、身寄りの無い孤児をひろったのだといった。思いがけないことなので、何と云ったらよいか迷っていると、この娘も母親のように医者にするつもりで、それが自分の人生だと、工場長はつけ

加えた。

駅で私が汽車に乗り、握手してさよならというと、工場長は静かな表情でつぶやいた。

「世界は広いから何時また会えるかわかりませんね。」  
これはまた妻へいった言葉であろう。

## 学 界 消 息

### 1 佐藤順一氏に岡田学会功労賞

岡田賞のうち学会功労賞が佐藤順一氏に贈られることに決定した。

### 2 新 入 会 員

遊佐三郎 (琉球気象台), 平良昌弘 (琉球気象台), 安里尚肇 (琉球気象台), 石垣和雄 (琉球気象台), 比嘉信昭 (琉球気象台), 栗林直里 (名瀬測候所), 牛島敏光 (福岡管区気象台), 小谷野正喜 (気象庁産業気象課),

寺田シゲ子 (九大農学部), 福井敏雄 (徳島測候所), 小宮書之助 (明大, 農学部), 清水啓 (福井大, 学芸学部) 宮腰潤一郎 (鳥取大, 学芸学部), 市川昌久 (仙台管区気象台), 加藤敬二 (工業技術院電気試験所), 近藤進 (東京管区気象台), 桜井澄子 (気象研究所), 中村努 (海上自衛隊), 福田矩彦 (名古屋大, 化学科), 八木恒介 (仙台管区気象台), 佐藤虎雄 (仙台管区気象台), 岡野陸夫 (海上自衛隊, 術科学校), 雪山朗 (農林省京都統計調査事務所), 新井正 (河川水温調査会)

## 日本気象学会創立75周年記念大会

日本気象学会創立75周年を記念し下記の通り行事を実施しますのでお知らせ致します。

1. 日時 昭和32年11月7日から10日まで
2. 場所 東京

	日 時	場 所	備 考
大会 (研究発表)	11月7日(木) 9時	気象庁・研修所	気象研究所と共催
〃 〃	8日(金)9時		
総合講演会	9日(土)9時	未定	専門的な総合講演講師(石川業六, 駒林誠, 岸保勘三郎)
記念式典	9日(土)午後	〃	
記念祝賀会	9日(土)夕刻	〃	一般的記念講演講師(和達清夫, 中谷宇吉郎)
記念講演会	10日(日)	〃	朝日・毎日新聞社後援

### 3. 行事日程

### 4. 研究発表講演申込み

締切: 9月25日 (必着のこと)

宛先: 東京都杉並区馬橋気象研究所 4の499

気象研究所 神山 恵 三

抄録: 200字以内

講演時間: 15分以内厳守

### 日本気象学会月例会予定

	日 時	場 所	申込・連絡先等
航空気象	10月 (航空技術打合せ後)	未定	羽田航空上松清
観測測器	11月14日	気象庁農業技術研究所 (土木, 建築, 農業気象)	気象庁清水逸郎
風に関するシンポジウム	11月11日	気象庁農業技術研究所 (土木, 建築, 農業気象, 航空, 海洋, 火災学会共催)	気象研究所神山 恵 三
気象電気	11月17日	研修所	講師内川規一, 河村謙, 川野実

## 日本気象学会北海道支部規約

- 第1条 本支部は社団法人日本気象学会北海道支部という。
- 第2条 本支部は事務所を札幌市北二条西十八丁目札幌管区気象台内におく。
- 第3条 本支部は北海道に在住するすべての日本気象学会会員によって構成される。
- 第4条 本支部は日本気象学会の定款の範囲内で事業を行うが、特に支部会員の研究の奨励・推進ならびに相互の連絡につとめることを目的とする。
- 第5条 本支部は前条の目的を達成するために講演会な

らびに学術的会合の開催その他本支部の目的にかなうと思われる事業を行う。

- 第6条 本支部の事業年度は毎年4月1日にはじまり翌年3月31日に終る。
- 第7条 本規約の実行に必要な細則は支部理事会の決議によって別に定める。
- 第8条 本支部に次の役員をおく。  
理事 7名 (内支部長1名, 常任理事3名)  
幹事 2名以内
- 第9条 理事は支部会員の互選によって定める。